

関係各位

関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
新潟県技術・家庭科研究会

会 長 佐 藤 靖 子
(公印省略)

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

会 長 松 崎 和 則
(公印省略)

第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア
関東甲信越地区大会埼玉県大会実施要項

1 趣旨・目的

- (1) ものづくりの発表を通して、知識・技術を習得し活用することにより、ものをつくることの喜びを味わう機会とする。
- (2) 技術・家庭科で習得した知識・技術を生かし、ロボットの設計、製作を通して、つくる喜びや仲間と共同して競技する喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識・技能の向上を図る。
- (3) 「創造アイデアロボットコンテスト」「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール共に、第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアの関東甲信越地区代表を選出する大会を兼ねるものとする。

2 主 催 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
埼玉県中学校技術・家庭科研究会

3 後 援 埼玉県教育委員会 (予定)
さいたま市教育委員会 (予定)
春日部市教育委員会 (予定)
川越市教育委員会 (予定)
越谷市教育委員会 (予定)

4 開 催 日 平成29年12月3日 (日)

5 会 場 春日部市総合体育館「ウイング・ハット春日部」
〒344-0035 春日部市谷原新田 1557-1 Tel 048-733-7575

交通手段

電 車・・・春日部駅 大宮駅より東武野田線
浅草駅より東武スカイツリーライン、東武伊勢崎線
せんげん台駅 浅草駅より東武スカイツリーライン、東武伊勢崎線
武里駅 浅草駅より東武スカイツリーライン、東武伊勢崎線
バ ス・・・春日部駅西口から『ウイング・ハット春日部』行き
→『ウイング・ハット春日部』下車 (約20分)
せんげん台駅西口から『ウイング・ハット春日部』行き
→『ウイング・ハット春日部』下車 (約15分)
徒 歩・・・東武スカイツリーライン武里駅西口下車 (約30分)
車・・・東北自動車道 岩槻インターより約20分
駐 車 場・・・無料 大型バス、マイクロバスとも駐車可

※ 会場までのアクセス、会場駐車場、施設の案内等は、下記URLにてご確認ください。

<http://winghat.info/facilities/winghat-kasukabe>

※ 会場は全面養生ではありません。「うわばき」をご持参ください。

6 審査員及び運営委員

(1) 創造アイデアロボットコンテスト部門

- ・ 関東甲信越地区及び埼玉県内中学校技術・家庭科教諭
※各都県より派遣の先生方他（各都県4名×9都県＝36名）
（内訳は別紙にて案内します・・・項目11を参照）
- ・ 各都県大学関係者及び指導主事他

(2) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール部門

- ・ 関東甲信越地区及び埼玉県内中学校技術・家庭科教諭
- ・ 各都県大学関係者及び指導主事他

7 日程

7:30	県内役員受付
8:20	県外役員受付
8:40～8:50	役員打合せ（受付担当を除く）
8:40～9:30	受付（来賓，参加生徒）
8:50～9:30	ロボット車検
9:30～10:00	開会式
(1) 開会のことば	埼玉県（副会長）
(2) 主催者あいさつ	関ブロ会長（新潟県会長）
(3) 来賓あいさつ	
(4) 選手宣誓	生徒代表（埼玉県）
(5) 諸連絡	埼玉県大会事務局
(6) 閉会のことば	埼玉県（副会長）
10:00～10:30	競技説明（ルール確認）
10:45～14:45	ロボコン競技（予選リーグ→決勝トーナメント） ロボコン動画部門審査 アイデアバッグ審査 <途中昼食休憩を含む>
15:30～16:00	閉会式
(1) 開会のことば	埼玉県（副会長）
(2) 結果発表，表彰	
(3) 講評	審査委員長
(4) 主催者あいさつ	埼玉県会長
(5) 諸連絡	埼玉県大会事務局
(6) 閉会のことば	埼玉県（副会長）

8 競技内容

※大会に関する各文書は、各都県事務局長にCDでデータを送付してありますのでご確認ください。

(1) 創造アイデアロボットコンテスト

- ・ 第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従い実施します。
- ・ 本大会では、必ず様式1の形式の「大会参加応募書」の提出をお願いします。
- ・ 基礎部門，活用部門及び応用部門の参加チームについては、別紙「PRカード・チーム掲示用カード」（様式4-1および様式4-2）を作成してください。
「PRカード」とは、A4サイズの用紙で、ロボットのアイデアや機能，しくみ等について説明するためのもので、審査員に配布し審査時の補助資料とします。また「チーム掲示用カード」は、競技時に掲示するカードになります。パソコンで作成し印刷してください。その際、ロボットの全景がわかるような写真を必ず貼り付けてください。また「チーム掲示用カード」については、各チームでも1部準備し試合中所持し、競技コートに必ず持参してください。

※提出は、大会当日の受付時に行います。

「PRカード」12部，「チーム掲示用カード」1部の提出をお願いします。

- ・ 基礎部門，活用部門，応用部門の出場チーム数について
3チーム×10都県で30チーム+開催都県枠（埼玉）1枠と次年度開催県（新潟）1枠の計32チームとします。
- ※県大会の結果、各都県の出場枠数のチームが出場ができない場合は、速やかに埼玉県大会

運営事務局・高木まで連絡をください。

- ・組み合わせ表について
予選リーグ及び決勝トーナメントをあらかじめ決定しておきます。予選リーグを4チームで8ブロックとし、上位2チームずつ計16チームが決勝トーナメントへ進めることとします。
- ・電池について
電池は支給しません。各チームで用意してください。詳細については、全日本中学校技術
- ・家庭科研究会WEBサイトにて全国大会のルール等を参照してください。
- ・審判について
各ロボコンコートに、ルールブック（全国大会マニュアル）を1部ずつ用意しますが、あらかじめルールを熟読しておいてください。

(2) 豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール

- ・第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従い実施します。
- ・出品点数については、全国大会の規定に沿って、各県代表を2点までとします。
(2点×10都県で最大20点となります。)
- ・アイデアバッグは、製作した作品とレポートを提出してください。
製作したアイデアバッグは、ジッパー付きのビニール袋に入れ、学校名、生徒氏名を明記して、別添の製作レポートに必要事項を記入し、作品とともに提出してください。
また、必ず各都県での予選通過順位を作品自体にシールを使用して明記し、提出してください。(都県順位のシールに書式はありません)
- ・レポートについては、全国大会と同形式のレポートを使用してください。
- ・賞状につきましては優秀賞2枚(全国出場者)、優良賞(最大18枚)とします。

(3) 「木工チャレンジ」コンテスト及び「あなたのためのおべんとう」コンクールについて

- ・本年度も関東甲信越地区大会(審査会)は実施いたしません。全国大会の要項にしたがってのエントリーとなりますことをご承知ください。

9 各部門の全国大会へのエントリー数について

部 門	賞 状	全国大会の枠(※4)
アイデアバッグ	優秀賞2	2人
基礎部門	優勝1, 準優勝1, 審査員特別賞3(※)	3チーム
活用部門	優勝1, 準優勝1, 審査員特別賞3(※)	3チーム
応用部門	優勝1, 準優勝1, 審査員特別賞3(※)	3チーム

- ※ ロボコン基礎部門、活用部門、応用部門の審査員特別賞は、アイデア賞・テクニカル賞・敢闘賞の3賞とします。アイデア賞のチームを、関東甲信越ブロック推薦とし、全国大会のエントリーチームとします。
テクニカル賞は、上位3チームから欠場するチームが出た場合の次点とし、敢闘賞はさらに欠場するチームが出た場合の次点とします。したがって、全国大会のエントリー順位としては、アイデア賞が3位、テクニカル賞が4位の扱いとなります。

10 各都県負担金について

今年度も、各都県の負担金は「20,000円」を予定しています。大会当日受付にて大会事務局にお渡しください。

11 役員依頼について

今年度も各都県の先生方に役員として運営のご協力をお願い致します。別紙(各都県役員依頼一覧)に審査員、審判、記録・計時などの依頼役員数をまとめました。「12 大会申し込みまでの流れ(5)」に記載されている手順で報告をお願いいたします。

12 大会申し込みまでの流れ

各都県事務局長(またはフェア担当者)は、以下の流れで大会への申し込みを行ってください。

- (1) 「大会参加承諾書(様式1)」と「大会申込用紙(各都県用)」(様式3)を参加生徒に渡し、

保護者自署・印を押して、当該学校担当者まで提出させてください。(ロボコン部門は様式1と様式3 バッグ部門は様式1のみ)

- (2) 当該学校担当者は、「大会参加応募書」(様式1)に校長名を記入して職印を押し、「大会申込用紙(各都県用)」(様式3)とともに各都県事務局長(またはフェア担当者)に提出してください。(ロボコン部門は様式1と様式3, バッグ部門は様式1のみ)
- (3) 各都県事務局長(またはフェア担当者)は、「大会参加応募書」(様式1)と「大会申込用紙(各都県用)」(様式3)を基に「各都県参加申し込み一覧表(取りまとめ用)」(様式5)を作成してください。
- (4) 参加者から集めた「大会参加応募書」(様式1)を、各都県会長印のある「大会参加報告書」(様式2)を鑑文として添えて、12月3日(日)に開催される大会会場に持参し受付にて提出をお願いします。
- (5) 別紙「各都県役員派遣一覧表」を基に、各都県の派遣役員や前日の審判打合せへの参加等を入力し、「参加役員報告書」(様式6)を作成してください。
その際、ロボコンの審判役員を担当される方は、前日にロボコンの審判打ち合わせ会(12月2日(土)14:30~ウイング・ハット春日部)を行うことをお知らせください。
- (6) 作成した様式5と様式6を、下記担当まで電子メールに添付してお送りください。
 - ※1 様式5と様式6は、必ず電子データでの提出をお願いします。
 - ※2 件名に「〇〇県埼玉大会申込み」と入力してください。
無題で送付すると、迷惑メールフィルタで除去されてしまいます。
 - ※3 メールが届いたら内容を確認し、折り返しご連絡します。

● 様式5提出先

【ロボコン担当】

学 校 名 春日部市立大沼中学校
担 当 者 川崎 将貴
住 所 〒344-0038 春日部市大沼6-75
TEL 048-736-9986
FAX 048-734-9420
E-mail robochan_saitama@yahoo.co.jp

● 様式6提出先

【大会運営事務局】

学 校 名 熊谷市立江南中学校
担 当 者 高木 聡
住 所 〒360-0114 埼玉県熊谷市江南中央2-1-1
TEL 048-536-1335
FAX 048-536-1939
E-mail taka_gika@yahoo.co.jp

申込み期日 平成29年11月17日(金)

- (7) アイデアバッグは、レポートと作品を同封して、下記担当までメール便等で郵送し、下記アドレスまで電子メールで送付した旨の連絡をお願いします。

【アイデアバッグ担当】

学 校 名 新座市立第四中学校
担 当 者 内田 優子
住 所 〒352-0004 新座市大和田4-17-1
TEL 048-477-6053
FAX 048-482-0134
E-mail yuu7716rainbow@yahoo.co.jp

申込み期日 平成29年11月17日(金)

※各都県での大会日程等の都合でどうしても期日までに申込み手続きが間に合わない場合は、事前に「埼玉県 大会運営事務局・高木」にご相談ください。

13 生徒及び引率者、応援保護者の宿泊とお弁当について

大会参加生徒及び引率者のお弁当のみ、学校ごとに埼玉大会事務局にて手配を致します。

「埼玉大会弁当申し込み」(様式7)を使用して申し込みを行ってください。

申し込み〆切を11月17日(金)とさせていただきます。よろしくお願い致します。

【弁当申込担当】

学 校 名	さいたま市立大宮西中学校
担 当 者	宮内 智
住 所	〒331-0052 さいたま市西区三橋6-1558
	TEL 048-624-4339
	FAX 048-624-2132

14 各都県役員・事務局の前日の宿泊について

宿泊については大会事務局では紹介のみとなります。必要な方は、直接宿泊先まで各自にてお願い致します。

15 その他

(1) 参加生徒及び引率職員の派遣等に係わる費用については、本会から負担しません。

(2) 各参加者からの参加費は、徴収しません。運営に係わる予算については、埼玉県中学校技術・家庭科研究会予算及び各都県運営協力費で賄います。

(3) 参加及び応援する生徒は、中学生らしい服装・行動を心がけるよう、引率教員の先生方からご指導ください。

なお、大会当日の持ち物として、上履きをご持参ください。

(4) 各都県派遣の大会役員の先生方には、大会事務局より大会当日の昼食をご用意させていただきます。

(5) 大会運営に関わる諸連絡、質問等の連絡先

大会運営事務局	熊谷市立江南中学校 高木 聰
住 所	〒360-0114 埼玉県熊谷市江南中央2-1-1
	TEL 048-536-1335
	FAX 048-536-1939
	Eメール taka_gika@yahoo.co.jp